

# 持続可能な地域コミュニティづくりに向けた若い世代によるネットワークづくり

## 特定非営利活動法人岡山NPOセンター

### 活動の目的

岡山県内の世代別転出のデータによると、進学や就職期である10代後半から20代後半にかけて著しい転出超過がみられている。未来の地域の担い手である若い世代の転出が増えることによって、地域のコミュニティが持続不可能な状態になっている。その課題解決に向けてまずは、都会の大学や大企業だけでなく、県内の企業、行政機関をはじめ、NPO・NGOや地域おこし協力隊、自らが起業するといった地元地域でのキャリアイメージを、若い世代が描ける環境づくりが必要である。

そのために、実際に地域で活動している同じ学生、年齢の近い若手社会人のゲストや、そこに参加している学生同士での交流会を行う。若い世代が自分たちの身近にも活躍の場があることや素敵な同世代又は少し年上の社会人の存在を知ることができる。地域で活躍するロールモデルとの出会いにより、将来的に地元地域での活動や就職を志向する可能性を広げることを目的とする。

### 活動の内容及び経過

毎回実際に地域で活躍している方をゲストに迎え交流会を3回実施した。ボランティア活動を行っている、または興味がある大学生が延べ28人参加した。企画にはボランティアとして3人の大学生が関わり、企画から当日の運営などを行った。

8月と10月には大学生と若手社会人をゲストにオンラインにて開催した。大学生ゲストからはご当地グルメを活用した地域活性化や大学生を中心とした地域研究チームについて、若手社会人からは大学時代の話から今の活動に至るまでの経緯について話があった。

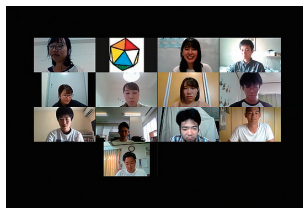
12月は対面にてgreen bird 岡山チームと共催した。活動の話聞いた後に、参加者全員でゴミ拾いを行った。その後、活動の前後でのボランティアの印象の変化や落ちていたゴミについてグループに分かれて共有し、参加者同士の交流を深めた。

その他には大学生の実態把握やニーズ把握を目的に、県内大学のボランティアサークルへコロナ禍での活動や現在困っていること、設けてほしい場についてのヒアリングを行った。

### 活動の成果・効果

同じ大学生や若手社会人のゲストから今行っている活動や大学生時代から今の仕事に至るまでの話を聞くことによって参加者からは「ボランティアや将来について話も聞くことが出来てすごく充実した時間を過ごせた」、「貴重な話を聞き、自分も何か行動してみよう!と思えた」といった声が聞かれた。

交流会を通じて、交流会に参加した学生とゲスト団体とのつながりができた。交流会後も団体での活動を継続するなど、交流会だけの単発では終わらない継続的な関係づくりが



大学ボランティアサークル交流会【8月】



大学ボランティアサークル交流会【10月】



学生ゴミ拾い!【12月】



大学ボランティアサークル取材

できた。

ボランティアサークルへのヒアリングを通して学生から直接「コロナ禍で思うように活動ができない」、「新入生の募集やサークル内外との交流ができない」といった大学生の現状について聞くことができた。学生との連絡・相談できる直接的なつながりを得ると共に、今後の活動につながるヒントを得ることができた。

### 今後の課題と問題点

- ボランティアサークルのネットワークの設立  
当初目的としていた大学生のボランティアサークルのネットワークの設立までは至らなかった。今年度できた大学生との顔の見える関係を活かして、設立に向けて働きかけをしていきたい。
- 幅広い層への働きかけ  
今年度は大学生を主な対象として交流会を実施したが、大学への進学時に県外へ転出するケースも多い。大学生だけでなく高校生以下に対しても働きかけをして、地元への進学就職のきっかけになるような場づくりが必要である。
- 「楽しかった」だけでは終わらない継続した場づくり  
交流会はほとんどの参加者が一回のみの参加だった。「楽しかった」だけで終わらないように、インターンシップなど次の一歩へつなげていく仕組みを作っていきたい。
- 必要な情報を受発信できるプラットフォーム  
ボランティアサークルへのヒアリングにて、情報発信ツールの取捨選択や他大学サークルとの情報交換方法が課題としてあがった。LINE等のプラットフォームを上手に活用した情報提供の仕組みをつくり運用していきたい。

● 代表者：石原達也 ● 所在地：岡山市北区表町  
● TEL：086-224-0995 ● E-MAIL：npokayama@gmail.com  
● URL：http://www.npokayama.org/  
● 設立年：2002年 ● メンバー数：37名